

V Series

VCS-8 | VWP-EU | VWP-US | VZX-8 | VZX-8-US



目次

1	安全性	4
1.1	安全情報	4
1.2	FCC に関する情報	4
1.3	廃棄に関する重要事項	5
2	本書について	6
2.1	電子版ドキュメント	6
2.2	対象者	6
2.3	著作権について	6
2.4	商標	6
2.5	法的責任について	6
2.6	概要情報	7
3	製品紹介	8
3.1	特長と機能	8
4	一般的な設置手順	9
4.1	開梱	9
4.2	付属部品	9
4.3	寸法	10
4.4	取り付けと通気	11
4.5	主電源接続	13
5	設置	14
5.1	フロントパネル	14
5.2	リアパネル	15
5.3	接続	16
5.4	V シリーズ アクセサリ	23
5.4.1	VCS 8 コールステーション	23
5.4.2	VWP ウォールパネルコントローラ	25
5.5	ストレージの詳細	25
6	VZX Webアプリでの構成	27
6.1	VZX-8 に接続	27
6.2	ファームウェアのアップデート	29
6.3	仮想ミキサー	29
7	サードパーティ製リモートコントローラ	30
8	障害	31
9	トラブルシューティング	32
10	メンテナンス	34
11	テクニカルデータ	35
12	VZX-8 ブロック図	36

1 安全性

1.1 安全情報

- この安全に関する重要事項をよくお読みになり、大切に保管してください。すべての重要事項を遵守し、すべての警告に留意してください。
- 該当する設置マニュアルの最新バージョンを www.dynacord.com からダウンロードして、設置手順をご確認ください。



情報

重要事項については設置マニュアルをご覧ください。

- すべての設置手順を遵守し、以下の警告表示に従ってください。



通知：追加情報が含まれています。通常は、通知の内容に従わなかったとしても、機器の破損や人的被害は起こりません。



注意！この警告に従わないと、機器 / 資産の破損や人的被害が起きることがあります。



警告！感電の危険があります。

- システムの設置および保守整備は必ず有資格者が行い、地域の該当規定を遵守する必要があります。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。
- 非常音声システム（コールステーションとコールステーション拡張を除く）は、立ち入りが制限された区域に設置してください。子どもがシステムに近寄らないようにしてください。
- システムデバイスをラックに設置する場合は、機器用ラックの品質が本機の重量を支えるのに十分であることを確認します。ラックを移動する際は、転倒して怪我をすることがないように注意してください。
- 機器には水滴や水しぶきがかからないようにしてください。また、機器の上には花瓶など液体が入った物を置かないでください。
- 主電源装置は、保護アース端子がついた電源コンセントに接続してください。電源供給可能な外部の電源プラグまたは全極型電源スイッチを取り付けてください。
- 機器を電源に接続する前に、機器の保護アース端子を保護アースに接続する必要があります。
- このユニットは、AC 100 ~ 240V に適したオートレンジ入力の回路を備えています。
- 聴覚に損傷を与えるのを避けるため、大きな音量で長時間聴かないでください。

1.2 FCC に関する情報

FCC サプライヤーの適合宣言

F.01U.426.620	VZX-8	8 ゾーン オーディオプロセッサ
F.01U.426.621	VZX-8-US	8 ゾーン オーディオプロセッサ、US
F.01U.426.622	VCS-8	8 ゾーン コールステーション
F.01U.426.623	VWP-EU	壁面パネル コントローラ

F.01U.426.625	VWP-US	壁面パネル コントローラ、US
---------------	--------	-----------------

適合性宣言

本機はFCC規則の第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。(1) 電波障害を起こさないこと。(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害を受け入れること。

責任当事者

Electro-Voice Dynacord LLC

130 Perinton Parkway

Fairport, NY 14450

USA

www.dynacord.com

© Electro Voice Dynacord 2026

規制遵守の責任者から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、本装置の使用権限が無効になることがあります。

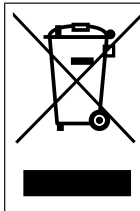
注記: この製品は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル装置の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電波障害を規制するために制定されたものです。本製品は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置で障害が発生しない保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源を入れたり、切ったりしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本製品と受信機の距離を離す。
- 本製品と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

1.3

廃棄に関する重要事項

古い電気および電子機器



本製品やバッテリーは、家庭ごみとは別に廃棄する必要があります。そのような機器を再利用またはリサイクルするために、地域ごとの法規制に従って処分してください。これにより、資源を維持し、人の健康と環境を守ることができるようになります。

2 本書について

この取扱説明書の目的は、本製品の設置、構成、操作および保守を行うために必要な情報を提供することです。

製品を使用する前に、本書をよく読んで、安全情報、機能、アプリケーションについて理解しておいてください。

この製品はプロ仕様の製品であり、訓練を受けた専門家のみが設置、使用、メンテナンスを行えます。

2.1 電子版ドキュメント

本書は、Adobe Portable Document Format (PDF) の電子版ドキュメントで提供されています。

Dynacord 製品の詳細については、www.dynacord.com の製品関連情報を参照してください。

2.2 対象者

この取扱説明書は、本製品の設置と使用を許可され、専門的な資格を有するすべての方を対象としています。

2.3 著作権について

特に明記されていない限り、本書の著作権は Dynacord に帰属し、同社が一切の権利を有します。

2.4 商標

本書全体を通じ、商標名が使用されている場合があります。商標名のすべての記載に商標記号を付す代わりに、Dynacord は、これらの名前が編集上の必要性に応じてのみ、商標の侵害を意図することなく商標所有者の利益のために使用されていることを表明します。

2.5 法的責任について

本書の正確性を徹底するためにあらゆる努力が払われていますが、Dynacord およびその公式代表者のいずれも、本書に含まれる情報に直接的または間接的に起因する、または起因すると主張される責任、損失、または損害に関して、いかなる個人や団体に対しても一切責任を負いません。

Dynacord は、継続的な製品開発および改善のため、機能および仕様を予告なくいつでも変更する権利を有します。

IT セキュリティ免責事項

すべてのネットワークオーディオデバイスとの最大限の互換性を提供し、迅速かつ簡単なセットアップおよびメンテナンスを可能にするために、当社の OMNEO 対応製品は、

- ネットワーク上の Dante または OCA コントローラ (またはその他のノード) の真正性を検証しません

つまり、ネットワークインターフェース経由の悪意のある攻撃または誤ってなされた攻撃に対して、これらのデバイスが特別な予防策も講じないということの意味しています。そのような攻撃は公共のインターネットで毎日発生します。安全で分離したネットワークでシステムをセットアップすることを強く推奨します。これはつまり、すべてのハードウェアコンポーネントが把握済みで物理的に所有されており、そのいずれも公共のインターネットに接続されていないネットワークを意味します。

音声避難システムに関する免責事項

本製品はアナウンスに使用できますが、EN54-16 に基づく音声避難システムの構成要素としては認証されていません。人命安全用途の音声避難システムは、本製品を使用して設計および構築しないでください。

2.6 概要情報

このマニュアルでは、次の商用タイプ番号の Vシリーズ ゾーン オーディオプラットフォームについて説明します。

CTN	製品説明
VZX-8	8 ゾーン オーディオプロセッサ
VZX-8-US	8 ゾーン オーディオプロセッサ、US
VCS-8	8 ゾーン コールステーション
VWP-EU	壁面パネル コントローラ
VWP-US	壁面パネル コントローラ、US

3 製品紹介

Dynacord V シリーズは、複数のゾーンにわたる高品質の音声配信を必要とする業務用に設計された、拡張性と柔軟性を備えたオーディオプラットフォームです。社屋、教育機関、ホスピタリティ施設、小売店舗、公共施設などの環境に最適です。システムアーキテクチャは、オーディオルーティング、信号処理、ゾーン制御の中心的なハブとして機能する **VZX-8 8 ゾーン オーディオプロセッサ** を中心に構築されています。**VCS-8 コールステーション**や **VWP 壁面パネルコントローラ**などの補完的なコンポーネントは、ページング、ソース選択、音量コントロールのための直感的なユーザーインターフェイスを提供します。



図 3.1: VZX-8 8 ゾーン オーディオプロセッサの正面図

3.1 特長と機能

VZX-8 8 ゾーン オーディオプロセッサは、商業用オーディオ設備向けに強力な信号処理と柔軟なゾーン制御を提供します。主な機能は次のとおりです。

- 8 つのバランス マイク/ライン入力を含む、**20 個の処理済み入力ソース**。
- **フルマトリックス DSP**: 入力 EQ、圧縮、AGC、ノイズゲート、FX、ルーム EQ、FIR 付きスピーカー EQ など。
- **オートミキサー (AMM)** および FX 付きの**仮想ミキサー**。任意のゾーンでライブ ミキシングに使用できます。
- 音楽、メッセージ、構成ファイルを保存するための **32 GB MicroSD カード**が付属。
- EV スピーカーなどのための **SONICUE** スピーカー データベースと互換性があり、システムのパフォーマンスを即座に最大化します。
- **2 x RJ45 アクセサリポート**は、ポートあたり最大 **1,640 フィート (500 m)** のケーブル長で確実に動作し、**合計 16 台の V シリーズ デバイス**を接続できます。
- システムを完成させるには、レベル、ゾーン、ソース制御用のディスプレイを備えた **VCS-8 コールステーション**と **VWP ウォールパネルコントローラ**を追加します。

VCS-8 8 ゾーン コールステーションにより、ゾーン ページング、メッセージのトリガー、システム制御を簡単に行うことができます。主な機能は次のとおりです。

- 自由にプログラムできる **9 つのボタン**。
- カスタマイズ可能な優先度と排他制御のビジー表示をサポート。
- 最大 **8 つのコールステーション**まで拡張可能です。
- LED ライトリングのビジー表示。
- 高品質のコンデンサマイク。
- 洗練されたスタイリッシュなデザイン。

VWP ウォールパネルコントローラでは、フルカラー TFT 多言語ディスプレイを使用して、レベル、ゾーン、ソース、メディア再生をコントロールできます。

- 視認性の高い **1.77 インチカラー TFT ディスプレイ**。
- **150 以上の言語の Unicode** サポート。
- デイジーチェーン接続により、ポートあたり最大 **8 つの VWP** まで拡張可能です。
- 柔軟なレベル、ゾーン、ソース制御、およびメディアプレーヤーの制御。
- 交換可能なフロントパネル (白/黒)。
- 標準的な EU または米国の壁掛けボックスで利用可能。

4 一般的な設置手順

インストールを開始する前に、以下のことを行ってください。

- メーカー指定の設置用資材を使用する。
- 製品の外側または内部に液体をこぼさない。
- 埃のないきれいな環境で設置を行う。
- 19 インチユニットの排気を妨げない。
- 製品を設置したい場所の近くに、十分な定格の電源コンセントがある。
- 19 インチユニットの背面にコネクタや配線のための十分なスペースがあり、容易に手が届く。

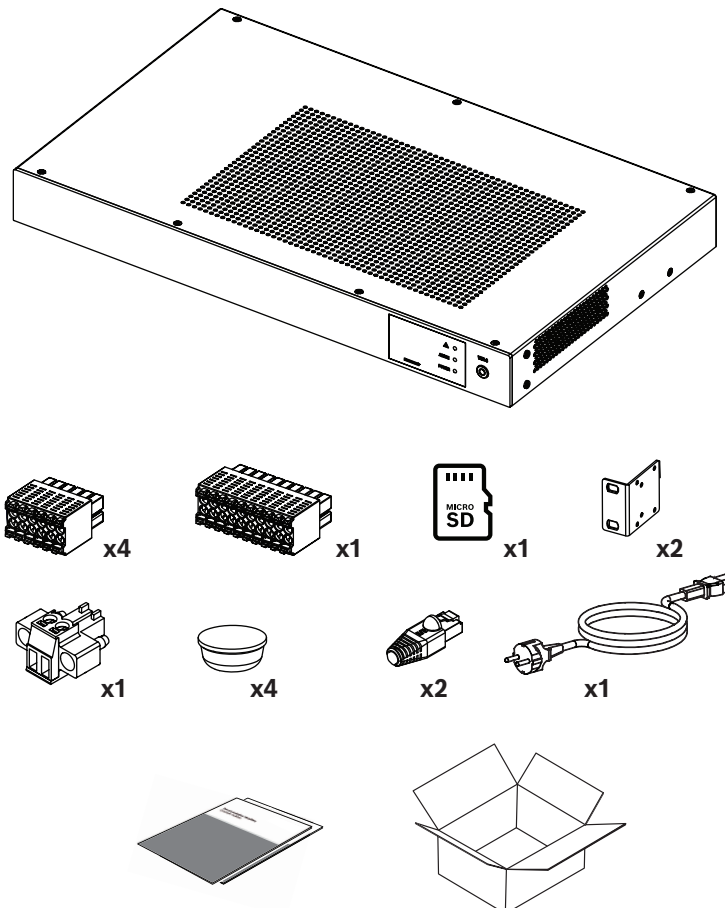
4.1 開梱

本製品は、注意深く開梱し、取り扱う必要があります。何らかの内容物に損傷が見られる場合は、直ちに配送業者までご連絡ください。内容物が不足している場合は、Dynacord 担当者までご連絡ください。

元の梱包材は、製品を輸送するための最も安全なコンテナであり、必要に応じて保守点検目的で製品を返送する際にも使用できます。

4.2 付属部品

すべての部品が揃っていて、損傷していないことを確認してください。梱包や部品が破損している場合は、配送業者にお問い合わせください。部品が不足している場合は、営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。



数量	梱包品
1	VZX-8 オーディオプロセッサ
1	電源入力 AC 電源ケーブル
4	入出力用の 12 ポジションのターミナルブロックプラグ
1	GPIO 用 20 ポジションのターミナルブロックプラグ
2	CAN ターミネーションプラグ
4	卓上設置用のゴム足
2	ラック金具
1	クイックインストールガイド
1	安全・セキュリティに関する情報の小冊子

4.3 寸法

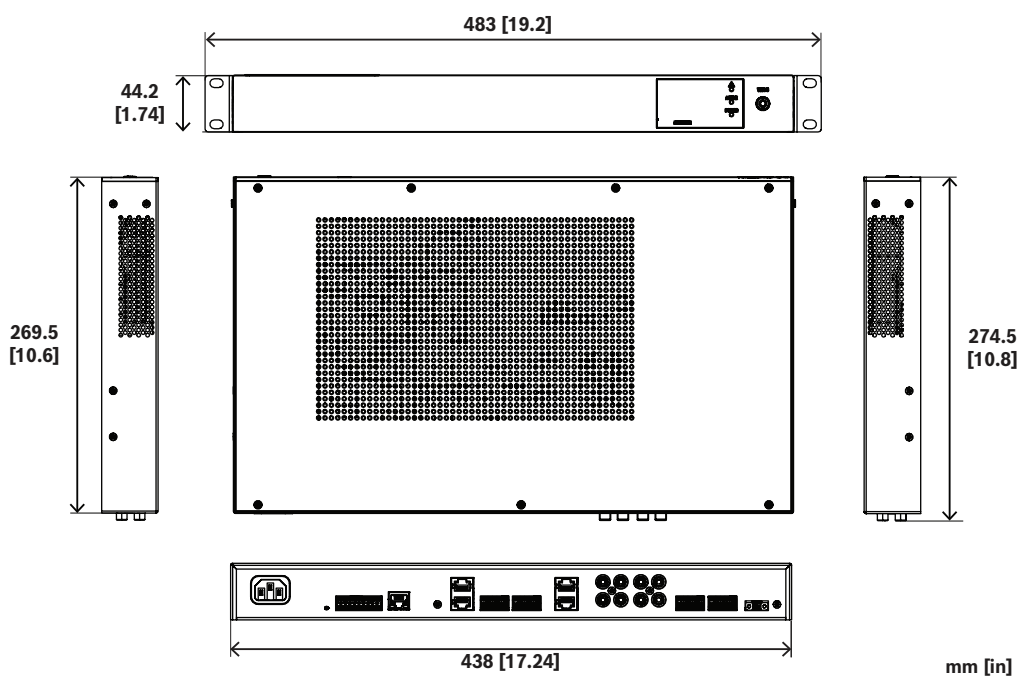


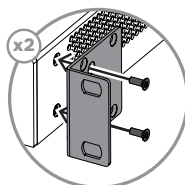
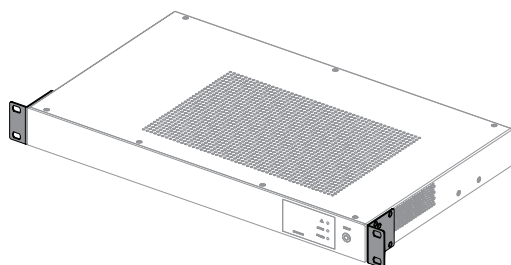
図 4.1: ラック金具付きの寸法

4.4 取り付けと通気

VZX-8 は、一般的な 19 インチ ラックまたはケースに設置できるように設計されています。

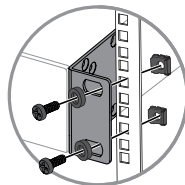
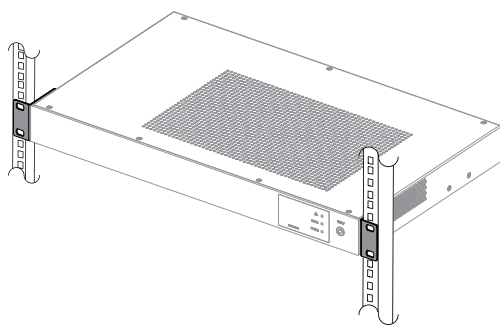
ラック金具をオーディオプロセッサに取り付けるには:

1. オーディオプロセッサから既存のねじを取り外します。
2. ラック金具をオーディオプロセッサの両側に配置します。
3. ねじを再度挿入して締め、ラック金具を所定の位置に固定します。

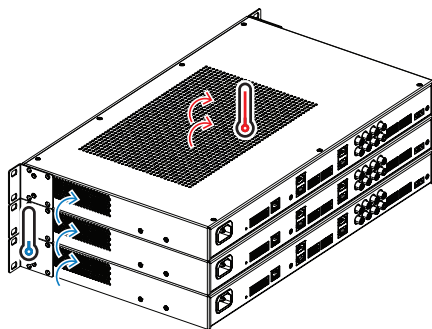


オーディオプロセッサをラックに配置します。

20 mm のねじとワッシャー (別売) を使用して、オーディオプロセッサをラックに固定します。



十分な通気を確保してください。



VZX-8 は、アンプなどの他の機器と一緒にケースやラックに設置されることがよくあります。これらのデバイスはラックスペース内に熱を蓄積することを考慮してください。VZX-8 製品の背面パネルとキャビネットまたはラックケースの内壁との間に、少なくとも 50 mm のエアダクトを設けることを推奨します。ダクトは、キャビネットまたはラックケース上部の通気孔まで通じている必要があります。

動作中には、キャビネット/ラックケース内部の温度が 40 °C まで上昇することもあるため、同じキャビネット/ラックケースに設置する他のすべての機器の最大許容周囲温度を考慮する必要があります。

**注意!**

装置の通気孔は絶対にふさがらないでください。
空気の流れを妨げないため、通気孔に埃が溜まらないようにしてください。

**注記!**

直射日光の下や、温風発生器、ストーブ、その他熱を発生する装置などの熱源の近くで装置を使用しないでください。

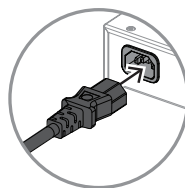
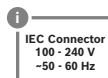
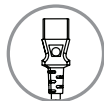
**注記!**

装置は、5 °C (41 °F) 以下または +40 °C (104 °F) を超える環境で使用しないでください。

集中管理型の冷房または空調を備えた装置制御室内に設置する場合、最大熱放射の計算が必要になることがあります。

4.5 主電源接続

VZX-8 は、AC 100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz の電圧に対応する IEC 主電源インレットコネクタから電源を受け取ります。同梱の AC ケーブル、または使用する国で承認された AC ケーブルのみを使用してください。設置作業中は、装置を決して電源に接続しないでください。装置の操作準備が完了したら、装置を主電源ネットワークにのみ接続してください。

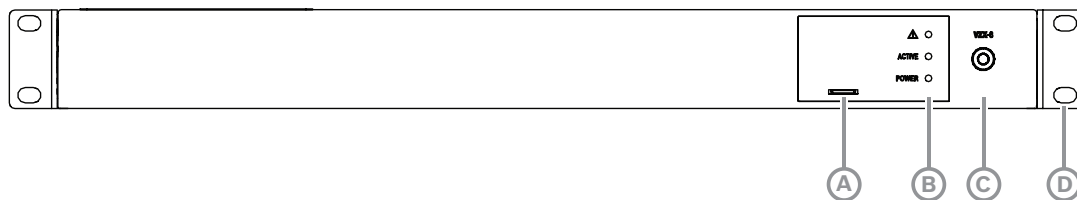


注意!

この装置には電源ボタンがありません。主電源から切断するには、電源プラグを物理的に取り外す必要があります。この操作を実行する際は、必ず安全な取り扱いを行ってください。

5 設置

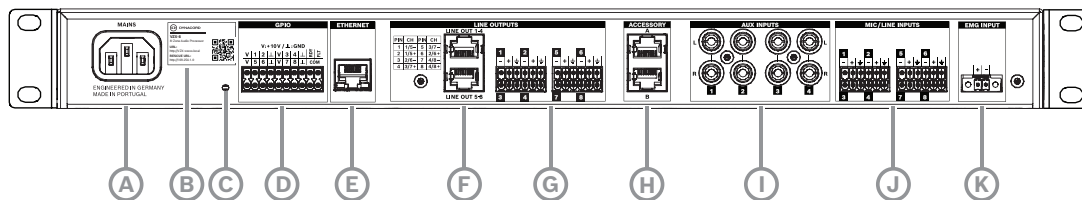
5.1 フロントパネル



A	microSD カード スロット
B	VZX-8 ステータス情報: POWER - 緑 (点滅: 装置の起動中、点灯: デバイスの初期化) ACTIVE - 黄、通話または EMG がアクティブ FAULT - 赤、ハードウェア/ソフトウェアの障害
C	多機能ボタン - 緑/青 (VZX Web アプリで必要な機能を割り当てます)
D	ラック金具 (納品時には組み立てられていません)

注記: オーディオ入力/出カメーターは VZX Web アプリで利用できます。

5.2 リアパネル



A	主電源コネクタ
B	VZX URL ステッカー (一意の URL と QR コード)
C	INIT ボタン 3 秒間押し続けると、ユニットがソフトリセットされます (ユーザー名、パスワード、および構成は保持されます)。 15 秒以上押し続けると、工場出荷時の設定にハードリセットされます (新しいセットアップが必要です。構成は MicroSD から回復できる場合があります)。
D	制御ポート (GPIO)、READY/FAULT リレー
E	イーサネット接続。シールド (STP) ケーブルを使用
F	V シリーズ アンプへの 8 つのオーディオチャンネル用の 2 つの RJ45 ライン出力。シールド (STP) ケーブルを使用
G	ライン出力 × 8、ターミナルブロック。ターミナルブロック出力は、2 つの RJ45 ライン出力 (8 チャンネル) と並列
H	アクセサリポート、A、B
I	RCA 入力ペア × 4、モノラルサミングペア
J	マイク/ライン入力 × 8、ターミナルブロック、48 V ファンタム電源付き。必要に応じて入力 8 をラインレベルの EMG オーバーライドに使用
K	70/100 V 信号用の EMG オーバーライド入力。EMG 入力は 8 つのライン出力すべてにルーティングされます。

5.3 接続

このセクションでは、VZX システムおよび関連デバイスで使用可能な入力、出力、コントロール接続について説明します。

Aux 入力

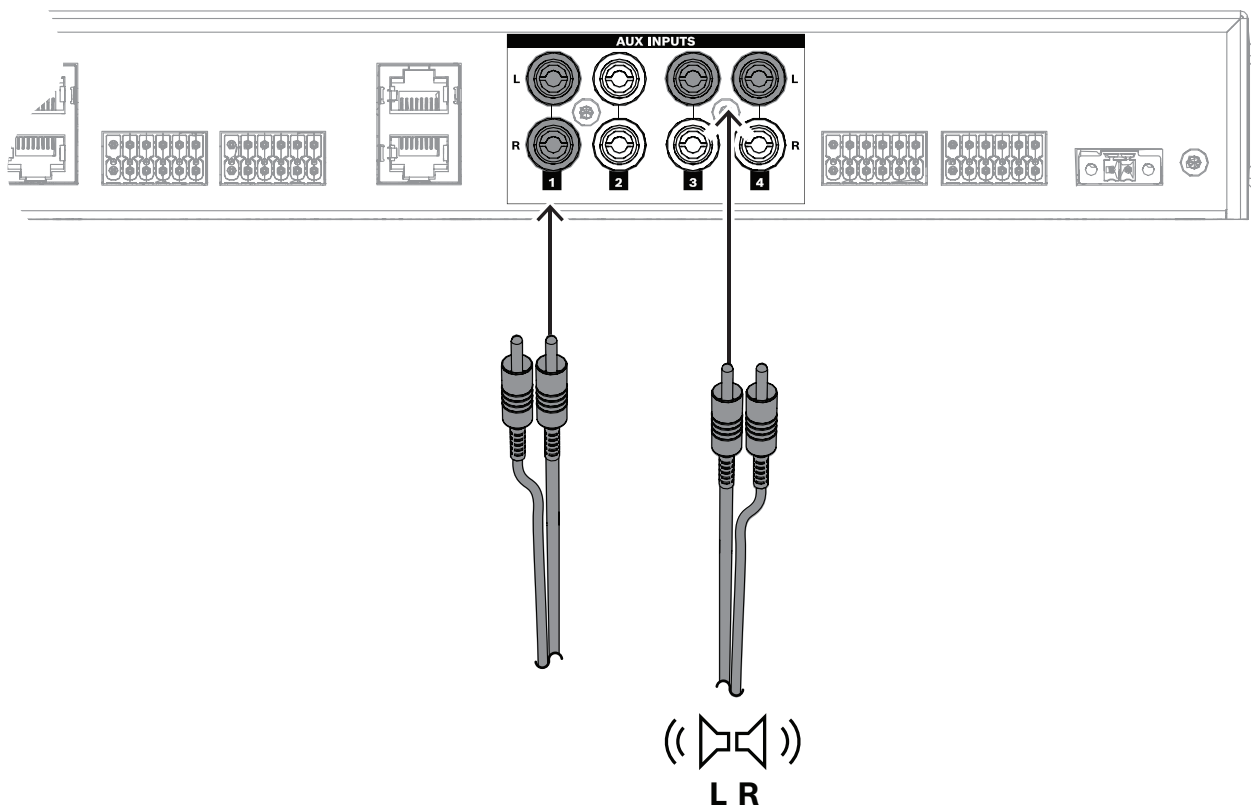
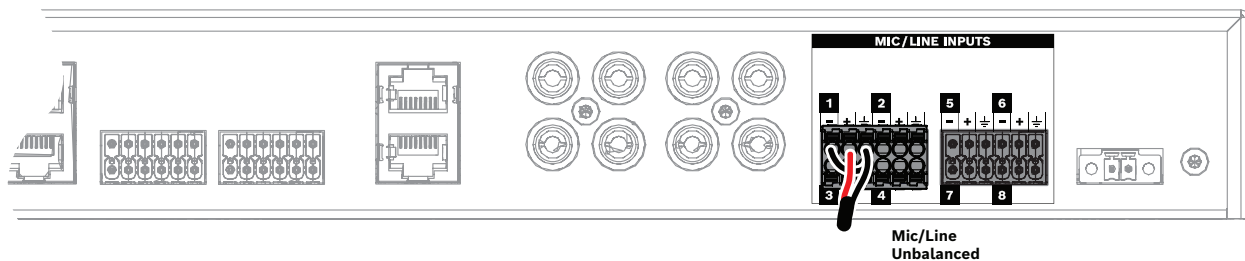


図 5.1: RCA 接続

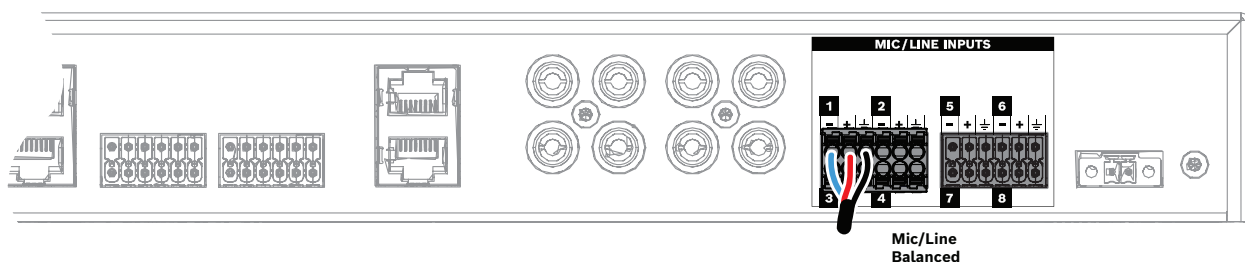
- RCA ペアを Aux 入力 1 ~ 4 に接続して、モノラル サミングのソースを作成します。
- **ステレオ RCA ソース**を接続するには、**左 (L)** チャンネルを 1 つの入力に接続し、**右 (R)** チャンネルを別の入力に接続します (例: 入力 1+2 または 3+4)。
- **VZX Web アプリ**で入力をリンクし、**ソース タイプ**を定義します。
ほとんどの RCA ソースは、**BGM (バックグラウンドミュージック)**として構成されています。

マイク/ライン入力

- マイク/ライン入力を使用してステレオソースを構成するには、左チャンネルと右チャンネルをそれぞれ別の入力に割り当てます。VZX Web アプリで両方の入力をリンクし、ステレオとしてソースタイプを定義します。
- **アンバランス ソース**の場合、スクリーン (シールド) と - ピンをブリッジ接続します。



- バランス ソースの場合、-、+、グラウンドの 3 つの端末すべてを使用します。



- ゲイン レベルを設定し、VZX Web アプリを使用して、48 V ファンタム電源有効または無効にします。

通知:

ユーロブロック コネクタをより簡単に、より安全に配線するには、挿入前にケーブルの端にワイヤフェールを圧着することをお勧めします。この追加の手順は、大型のパフォーマンス オーディオシステムでは一般的であり、適切な接点圧力を保証するのに役立ちます。裸線では剛性が不足し、設置が困難になる場合があります。

- フェールにより先端がしっかり固定され、工具なしで挿入できるようになります。
- ほつれたワイヤーがショートを引き起こすリスクを軽減します。
- 接続の長期的な信頼性が向上します。

段階的な手順:

1. ワイヤを適切な長さに剥がします。
コネクタの銅スリーブの長さを超えないでください。
2. ワイヤをフェール スリーブに挿入します。
すべてのワイヤの線がスリーブ内に収まっていることを確認します。
3. 圧着工具を使用してフェールを圧着します。
しっかりと固定するために、十分な圧力をかけます。
4. フェールをユーロブロック コネクタに挿入します。
通常通り端子ねじを締めます。

(注記: 圧着工具は付属していません。)

緊急オーバーライド (EMG 入力)

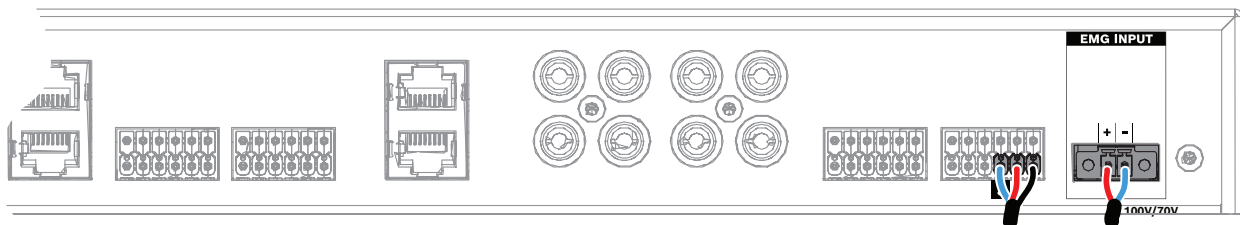


図 5.2: EMG 接続

- ラインレベルのオーバーライド ソースをマイク/ライン入力 8 に接続します。
- 70/100 V オーバーライド ソースを専用の EMG 入力に接続します。
- **VZX Web アプリ**で適切な **EMG 入力タイプ**を選択してください。
- しきい値レベルに達すると、EMG 入力により、すべてのオーディオ出力が上書きされます。
- EMG 入力は、トリガーされると 8 つのライン出力すべてにルーティングされます。

ライン出力 - RJ45

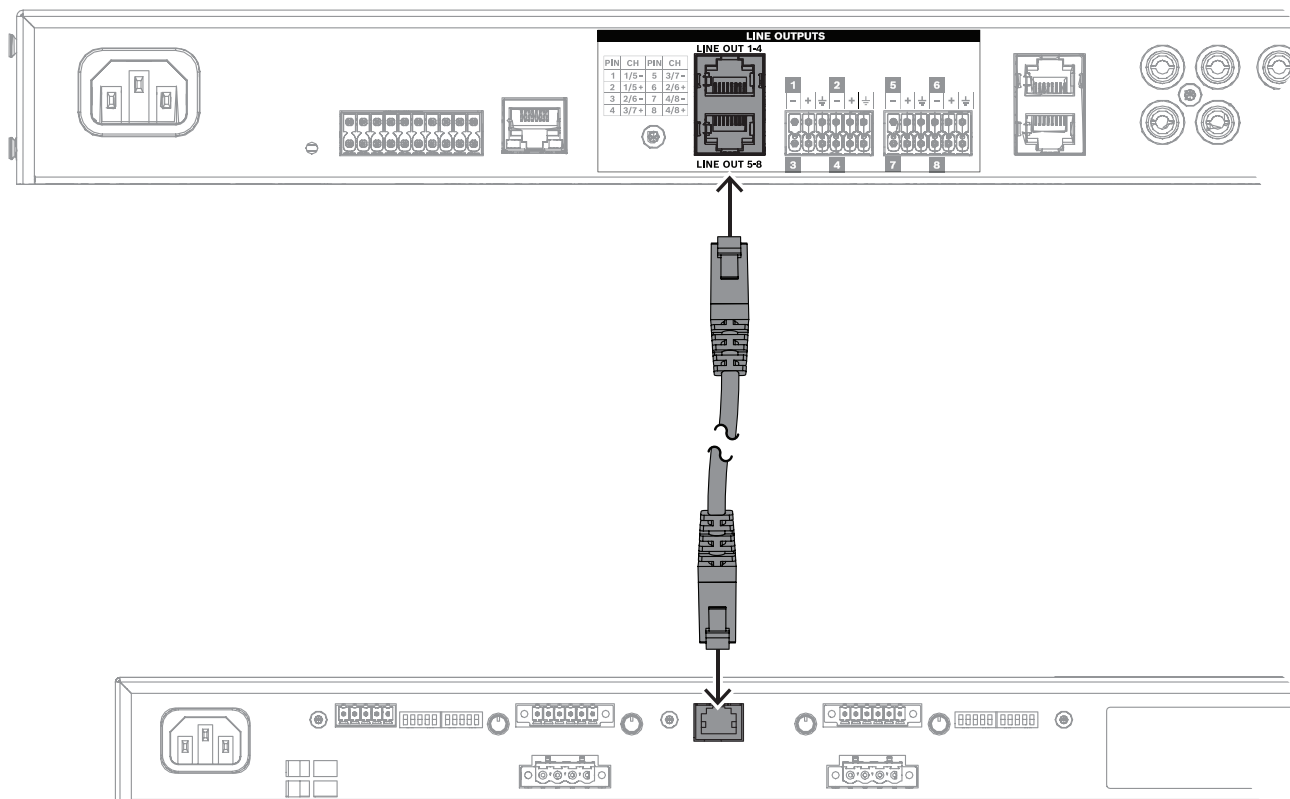


図 5.3: ライン出力 RJ45 接続

- ステレオ出力を構成するには、ペアになったチャンネル (例: CH1とCH2) をそれぞれ左出力と右出力に割り当てます。VZX Web アプリを使用して、ステレオゾーンとしてそれらをグループ化し、ルーティングします。
- RJ45 ライン出力は、以下をサポートしています (単一ケーブル経由):
 - V600:4 (4 つのオーディオチャンネル)

- V600:2 (2つのオーディオチャンネル)
- **V600:2**を使用する場合は、残りの出力 (例: 3 + 4または7 + 8) を **VZX-8** のライン出力コネクタを介して接続します。
- 信号の完全性を維持するには、VZX-8 と V シリーズ アンプの間で、**シールドツイストペア (STP) ケーブル**を使用します。

注記: RJ45 出力は **AES72-1E 標準** に準拠しており、標準的な **CAT5e** または **CAT6** 配線と互換性があります。



注意!

ライン入力 RJ45 を、イーサネット、CAN-BUS、コールステーション、PoE ポート スロットに接続しないでください。装置が正しく動作しなかったり、損傷したりする恐れがあります。

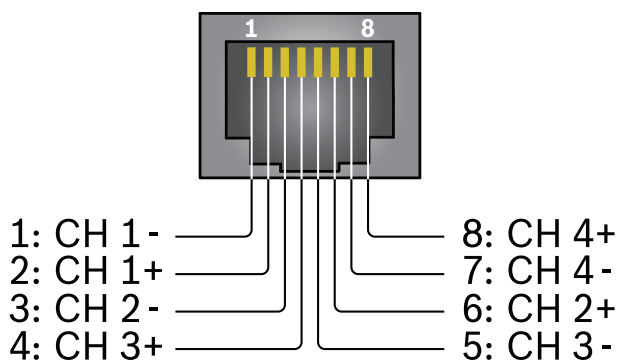
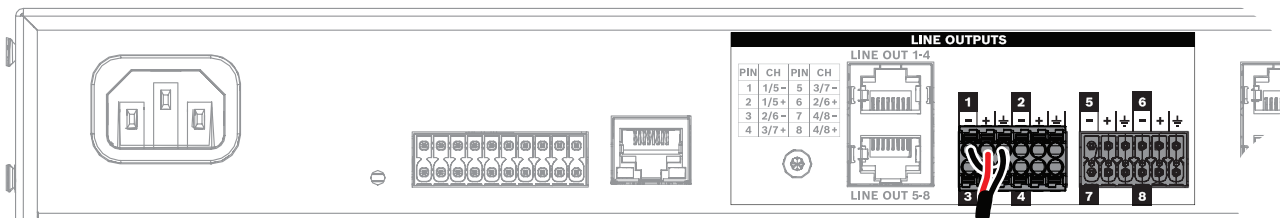


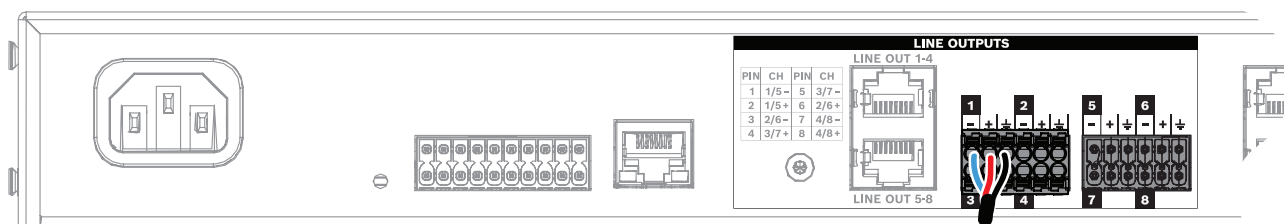
図 5.4: AES72-1E 配線

ライン出力

- アンバランス出力の場合、スクリーン (シールド) と - ピンをブリッジ接続します。



- バランス出力の場合、-, +、グラウンドの3つの端末すべてを使用します。



コントロールポート - GPIO

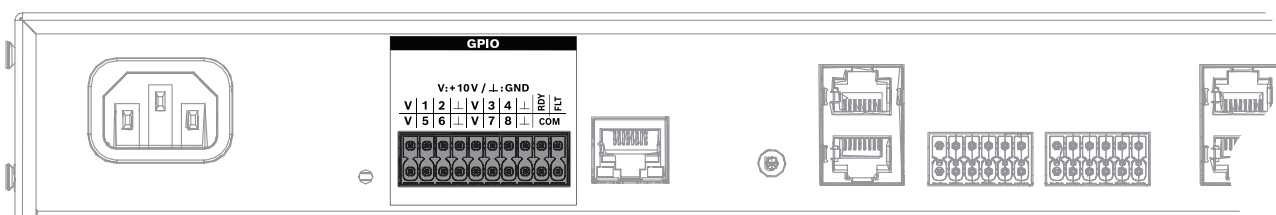
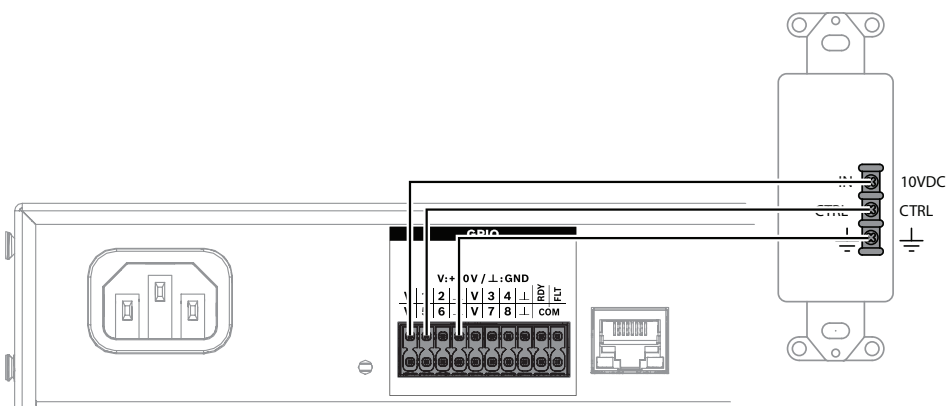


図 5.5: コントロールポート GPIO 接続

- コントロールポートには以下が備わっています。
 - 8つのGPIO (汎用入力/出力)
 - READY/FAULT リレー接点
 - グランドおよび +10V リファレンスピン
- ポートは 20 ポジションのターミナルブロックプラグを使用します。
- GPIOは VZX Webアプリ から構成できます。
 - 入力によりアクションをトリガーできます (出力のミュート、メッセージの再生など)。
 - 入力によりゾーンレベルを制御できます。



- 出力により、ステータス信号または制御信号を外部デバイスに送信できます。
 - READY/FAULT 接点は、システムステータスインジケータに使用される無電位リレー接点です。
- レディ/フォールトリレー

これにより、プロセッサのステータスが「RDY」(すべて正常)であるか、または「FLT」(障害)であり正しく機能していない可能性があることを外部装置やインジケータに通知できます。次の表は、READY または FAULT インジケータのさまざまな動作モードやエラー モードにおけるリレー設定を説明したものです。

状態	製品説明
RDY	プロセッサはアクティブ、障害は検出されていない
FLT	ハードウェア、ソフトウェア、またはアクセサリの接続切断の障害が発生中

*) RDY/FLT: 閉鎖された接点を示します。

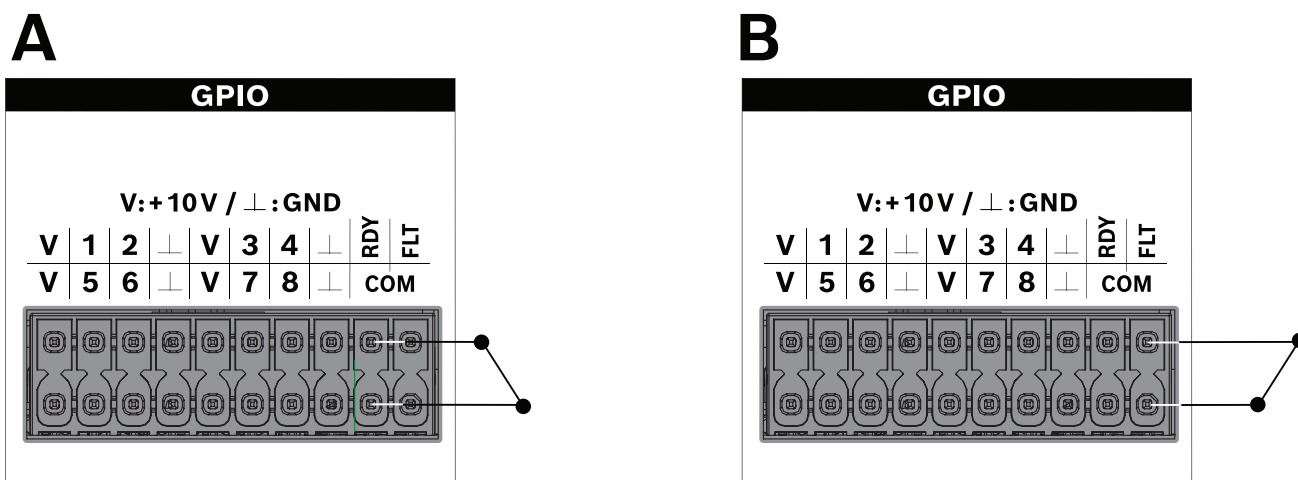


図 5.6: 図 A は RDY (すべて正常) 状態を示しています。図 B は FLT (障害) 状態を示しています。

アクセサリ音声入力

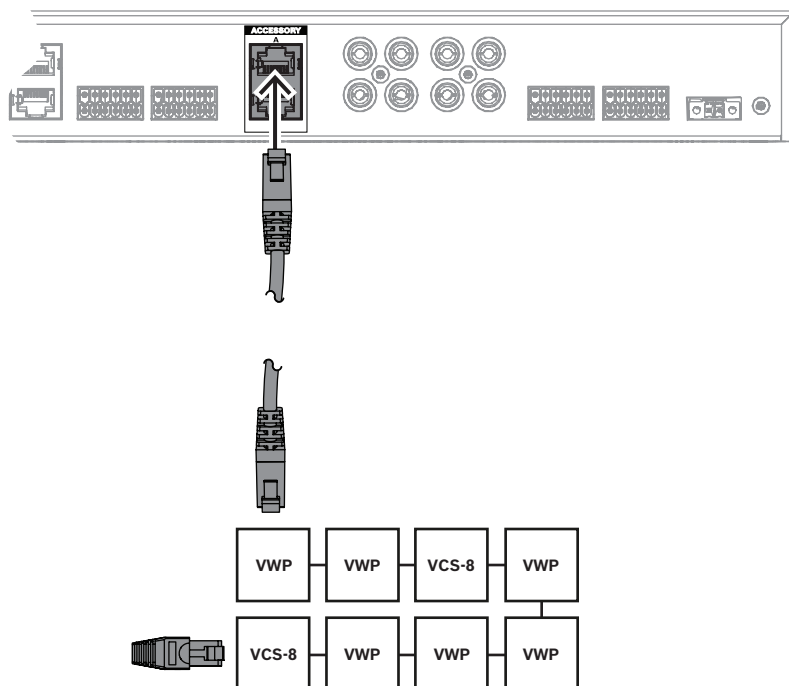


図 5.7: アクセサリ接続

- VZX-8 には、DSP > 入力内に**アクセサリ**と呼ばれるセクションがあり、処理を割り当てるためのアクセサリ入力が 4 列 (ゲート、HPF、4 バンド入力 PEQ、トリム) あります。
- これらの 4 つの処理済みアクセサリ音声入力には、他の 20 個の音声入力 (8 つのマイク/ライン、4 つの RCA Aux、8 つのデジタル プレーヤー) に加えて、ページング イベント中の VCS-8 ページング音声の音声が含まれています。
- 4 つの VCS-8 コール ステーションは、さまざまなゾーンをアドレス指定するときに同時にページングできます。
- 最大 8 台の VCS-8 コール ステーションを接続できます。
- バスごとに各コールステーションで使用するアクセサリ音声入力を選択し、これらの VCS-8 コールステーション間の優先順位を設定できます。

5.4 Vシリーズ アクセサリ

VZX-8 システムは、複数のゾーンにわたって制御と機能性を拡張できるように設計されたさまざまなインテリジェント アクセサリをサポートしています。これらのアクセサリは、VZX-8 のアクセサリポートから直接電源が供給されるプラグアンドプレイのデバイスです。

アクセサリの概要

モデル	製品説明	入力	VZX-8 プロセッサあたりの最大数
VCS-8	8 ゾーン コール ステーション	2 × RJ45 (入力/出力)	8
VWP	壁面パネル コントローラ	2 × RJ45 (入力/出力)	16
すべてのアクセサリの組み合わせ	-	-	16 (ポートあたり 8)

接続ガイドライン

- **最大 16 個のアクセサリ**を 1 台の VZX-8 プロセッサに接続できます。プロジェクトのニーズに最適な組み合わせを選択してください。
- アクセサリは、VZX-8 の**アクセサリ ポート A と B**を使用して、**デジチェーン トポロジ**で接続する必要があります。
- **アクセサリをネットワーク スイッチに接続しないでください**。これらはネットワーク デバイスではないため、VZX-8 に直接接続する必要があります。
- 各アクセサリ ポートは、最大 500メートル (1,640フィート) までの合計ケーブル長をサポートしています。
- **CAN 終端プラグ**を、各デジチェーンの**最後のアクセサリ**の未使用の RJ45 ポートに挿入する必要があります。これらの終端プラグは VZX-8 プロセッサに付属しています。

注記: 最高のパフォーマンスのためには、アクセサリを両方のアクセサリ ポート (AとB) に均等に分散する必要があります。

5.4.1 VCS 8 コールステーション

VCS-8 8 ゾーン コールステーションは、Vシリーズ ゾーン オーディオプラットフォームとシームレスに統合できるように設計された、堅牢で多用途なページング デバイスです。RJ45 ケーブルを使用して、**VZX-8 アクセサリ ポート** に直接接続します。

主な機能は次のとおりです。

- ゾーンまたはコントロール機能に割り当てることができる、LED インジケータ付きの**9 個のプログラム可能なボタン**。
- マイク周りの**ライト リング インジケータ**は、ラインがビジーのときにユーザーに通知します。ライトリングの動作状態

インジケータ	意味
オレンジ色 (点灯)	プリチャイムがアクティブ状態またはコールルーティング中
オレンジ色 (点滅)	選択したゾーンで優先度の高いイベントが発生したため、コールが保留
青色	ファームウェアの更新が進行中 (更新中はページングが無効)

- ラッチまたはモメンタリとして構成可能な大型のプッシュアウトーク (PTT) ボタン。
- VCS-8 コールステーションは、VZX Web アプリを介して完全に構成できます。
- アクセサリポートから直接電源を供給するプラグアンドプレイ動作。

合計アクセサリの制限は 16 台ですが、最大 **8 台の VCS-8 ユニット** を 1 台の VZX-8 プロセッサに接続できます。

5.4.2

VWP ウォール パネル コントローラ

VWP ウォール パネル コントローラにより、音声ゾーン、レベル、ソース、メディア再生を直感的に制御できます。壁面取り付け用に設計されており、RJ45 経由で VZX-8 アクセサリ ポートに接続します。

主な機能は次のとおりです。

- VZX-8 プロセッサごとに最大 16 台の VZX-8 ユニット (ポートあたり 8 台) を接続できます。
- アクセスコントロールのために **4 桁の PIN ロック**と**複数のユーザー プロファイル**をサポートしています。
- **VWP ウォール パネル コントローラ**は、**VZX Web アプリ**を介して完全に構成できます。
- アクセサリ ポートから直接電源を供給するプラグ アンド プレイ動作。

VWP パネルは、会議室、教室、ホスピタリティ施設などのマルチゾーン環境での分散制御に最適です。

5.5

ストレージの詳細

VZX-8 には、オンボードおよび拡張可能なストレージ オプションが含まれています。

内部メモリとメッセージ

チャイムや録音済みのメッセージを保存するために、**300 MB の内部メモリ**が含まれています。

- メッセージは、**メディア > メッセージ**から **VZX Web アプリ**で構成できます。各メッセージには次のような設定を含めることができます。
 - レベル
 - ゾーン選択
 - プリディレイ
 - リピート カウント
- メッセージは、**アクション**を使用してトリガーできます。アクションを以下を使用してトリガーできる場合があります。
 - コール ステーション ボタン
 - GPIO 入力
 - OpenInterface コマンド
 - その他のシステム トリガー

メッセージの使用

メッセージの再生を有効にするには、次の手順に従います。

1. **入力 > メディア プレーヤー**で、少なくとも 1 つのメディア プレーヤーを**モード: MSG**に割り当てます。
2. **メディア > メッセージ**で、メッセージ プレーヤーの割り当てを選択します。
3. **DSP > ゾーン**で、メッセージ プレーヤーを入力として有効にします。

MicroSD カード - 曲と自動構成のバックアップ

- VZX-8 には、以下をサポートする **MicroSD カード リーダー**が備わっています。
 - 音楽の再生、個々のファイルまたは .m3u プレイリスト
 - 自動構成バックアップ
- メディア プレーヤーが **BGM** に設定され、再生が開始された場合:
 - ファイルまたはプレイリストのデフォルトは **リピートモード**です。
注意:音楽を連続再生には、**.m3u プレイリスト ファイル**を作成することをお勧めします。
- メディア プレーヤーの BGM は、**VWP 壁面パネル コントローラ**からソースを選択することで、スタートできます。
- ファイル (曲やプレイリスト) は、**VZX Web アプリ**を介して MicroSD カードに転送できます。
注記:ユニットは、USB 大容量記憶装置としては機能しません。

- ハードリセット (INIT ボタンを 15 秒間押し続ける) 中、システムは **MicroSD カードから構成をインポートする**よう要求します。

構成ファイル

- ユニット間で構成を共有するには:
 - **設定 > 構成**を使用して、ファイルを**エクスポート**および**インポート**します。
 - ファイルを転送するには、PC/Mac/タブレットに一時的に保存する必要があります。

付属のメディア

音楽ファイルやプレイリストを保存するための **32 GB MicroSD カード**が付属しています。

サポートしているメディア タイプ

- **カードの種類:** microSD、microSDHC、microSDXC
- **ファイル システム:** FAT32、exFAT (最大 2 TB)
- **音声形式:** WAV (48 kHz)、MP3、AAC
- **プレイリストの形式:** .m3u

.WAV ファイルの要件

48 kHz 以外のサンプル レートの WAV ファイルを使用する場合は、再生前に **48 kHz** に変換してください。

.m3u プレイリスト管理

プレーンテキスト エディタを使用して .m3u プレイリストを作成します:

1. プレーンテキスト エディタを開きます。
2. 各ファイル名をそのファイルの行に記載します。
3. ファイルを **.m3u** 拡張子で保存します。

例:

Monday.mp3

Tuesday.mp3

Wednesday.mp3

Thursday.wav

プレイリストは上から下へ、リストされた順序で再生されます。

注記: スペースを含むファイルをアップロードすると、VZX-8 によってファイル名にアンダースコア (_) が追加されます。プレイリスト ファイルにアンダースコア (_) を含める必要がある場合があります。ファイル名は完全に一致してなくてはなりません。

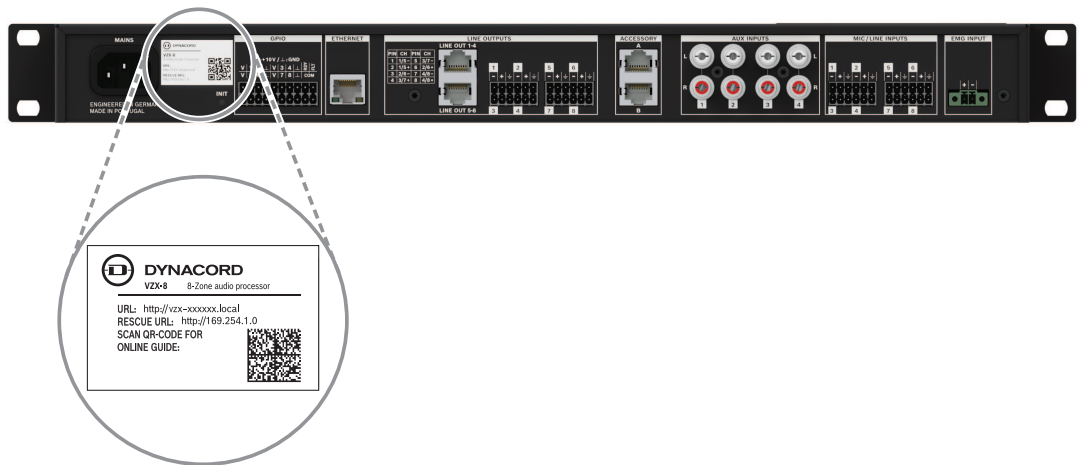
6 VZX Webアプリでの構成

6.1 VZX-8 に接続

VZX-8 はゼロ構成ネットワーク (ZeroConf) を使用します。これにより、アプリ、ドライバー、またはソフトウェア インストーラーなしに簡単にセットアップできます。

各 VZX-8 ユニットには以下が付属しています。

- ユニット専用の一意的 URL と QR コードのほか、接続に役立つ QR コードが記載された背面パネルのステッカー。
 - 同じ情報が記載されたボックス内のカード。
- 一意的 URL は、ユニットの MAC アドレスに基づいており、製造時に追加されます。レスキュー IP アドレスも直接接続に利用できます。



注: QR コードは、接続手順が記載されたオンライン ガイドにリンクしています。ユニットへの直接アクセスは提供されません。

接続方法

方法 1: Wi-Fi ルーター / DHCP サーバー搭載ルーター (推奨)

1. シールド付き (STP) RJ45 ケーブルを使用して、VZX-8 を DHCP 対応ルーターに接続します。
2. ブラウザに VZX URL を入力するか、Rescue URL を使用します。
3. URL をブックマークするか、カスタム IP アドレスを設定します。

有線または Wi-Fi DHCP 対応ルーター経由での接続

有線または Wi-Fi DHCP 対応ルーター経由で接続する場合、企業のインターネット設定により接続がブロックされる場合があります。VZX アドレスを読み込むときに、**504 DNS ルックアップに失敗しました** というメッセージが表示される場合があります。

有線または Wi-Fi DHCP 対応ルーター経由で接続する場合:

- 最新のファームウェアを使用します。
- 構成中は企業のインターネット ネットワーク接続を切断します (ダム ネットワークを作成します)。
- サポートが必要な場合は、IT 部門にお問い合わせください。

PC/Mac のネットワーク設定

- デフォルト設定を使用します。
- IPv4: IP と DNS を自動的に取得します。
- IPv6: 自動的に構成します。

方法 2: 直接イーサネット接続

- イーサネット ケーブルを使用して、PC または Mac を VZX-8 に直接接続します。Rescue IP 経由での接続を可能にするには、PC/Mac の IP 設定が自動 (DHCP) に設定されていることを確認してください。
 - VZX URL または **Rescue IP アドレス**: `http://169.254.1.0` を使用します。
 - この方法は、VZX URL またはカスタム IP が失われた場合に回復するために使用できます。
 - 割り当てられたユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
- 注記:** 直接接続してもすぐに接続されない場合は、装置を構成する際に、ネットワーク カードを `169.254.x.xx` の範囲の静的 IP アドレスに設定してください。

ログインとセキュリティ

初めて使用する場合、VZX Web アプリは、**ユーザー名とパスワード**の作成を求めます。この情報を安全に保存するか、パスワード マネージャーを使用してください。

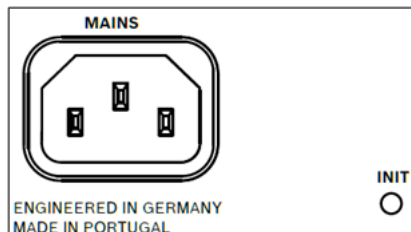
多目的ボタン

フロント パネルの多目的ボタンは、次の機能に構成できます。

- **パスワードの代わりにボタンを使用してログインします**
(VZX Web アプリでこの設定を有効または無効にします)。
- **固着障害のクリア**
根本的な問題が解決された後、ボタンを使用して障害状態をクリアします。
障害をクリアするには、長押し (3秒) する必要があります。

システム リセット

- リア パネルの **INIT ハード リセット ボタン**を使用します。



- **3 秒間押し続けると、システムがソフト リセットされます。**
この場合、ユーザー名、パスワード、および構成データが保存されます。
- 工場出荷時の設定にハード リセットするには、**15 秒間押し続けます。**
これにより、すべての構成データが削除されます。リセット後、新しいユーザー名とパスワードを作成します。
この手順では、VZX Web アプリの **設定 > インポート**を介して、MicroSD カードまたは外部ファイルから保存された構成を再インポートできます。

6.2 ファームウェアのアップデート

完全な機能を確認するには、VZX-8 を初めて使用する際にファームウェアを更新してください。

ファームウェアを更新する手順:

1. <https://go.dynacord.com/vzx-8> へ移動します。
 2. VZX-8 の最新ファームウェアをダウンロードします。
 3. VZX Web アプリを開きます。
 4. **設定 > ファームウェア > インポート**に移動して、指示に従ってください。
- 追加のヘルプについては、次のセクションを参照してください。
- www.dynacord.com のオンライン リソース

注意!

ファームウェアのアップデート中は、**電源を切らない**でください。更新を中断すると、装置が動作しなくなる恐れがあります。更新には最大 15 分かかる場合があります

更新を試みた後に装置が応答しなくなった場合は、dynacord.com から **OMNEO ファームウェア アップロード ツール**をダウンロードして、このツールを使用して回復を実行します。また、dynacord.com で入手できる別のタイプのファームウェア ファイルも必要になります。

OMNEO ファームウェア アップロード ツールを実行するには、ご使用の PC の管理者権限が必要になる場合があります。



6.3 仮想ミキサー

仮想ミキサーは、VZX-8 システムの強力な機能で、1 つ以上のゾーンでライブ ミキシングを実現します。ライブ音楽会場、礼拝所、フィットネス スタジオ、リアルタイムでの柔軟なオーディオ制御を必要とするその他の用途などの動的な環境に最適です。

各 VZX-8 プロセッサには、次の機能を備えた **1 つの仮想ミキサー**が付属しています。

- FX バス
- FX 送信レベル
- ユニークなレベル ミックス

ゾーンは、**オプションのソース**として、バーチャル ミキサーを再生するように割り当てることができます。これにより、システム インストーラーがセットアップを再構成する必要なく、バックグラウンド ミュージック (BGM) とライブ ミキシングをシームレスに切り替えることができます。

主な特徴

- **入力割り当て:** 仮想ミキサーにルーティングする入力を選択します。
- **オートミキサー (AMM):** 1 つ以上のマイク/ライン入力で AMM を有効にして、レベルを自動的に管理します。
- **Dynacord FX Suite:** リバース、ディレイ、エコー、コーラス、およびそれらの組み合わせを含むプロ仕様のエフェクトを追加します。
- **安全なアクセス:** 各 VZX-8 には、仮想ミキサー インターフェイスにロックされた専用の Web アプリ URL と QR コードが用意されています。これにより、システムの残りの部分が改ざんされることなく、許可されたユーザーがミキシング コントロールにアクセスできるようになります。

7 サードパーティ製リモートコントローラー

コントロール: API、イーサネット コントロール、サードパーティ プラグイン

VZX-8 は、API、イーサネット コントロール、または利用可能なプラグインを使用して、サードパーティの AV 制御システムまたはビル自動化プラットフォームと統合できます。

コントロール ポート - GPIO

GPIO 機能と配線の詳細については、このマニュアルの VZX-8 に接続, ページ 27 セクションを参照してください。

サードパーティ プラグイン

Dynacord は、一般的な AV 制御システム用のプラグインとセットアップ手順を提供します。

これらは、

ソフトウェア、ファームウェアと設計ツール > サードパーティ プラグイン 下の Dynacord ダウンロードセクションにあります。

OpenInterface (TCP/IP、JSON-RPC) によるイーサネット コントロール

OpenInterface を使用してイーサネット コントロールを有効にするには:

1. VZX Web アプリ > 設定 > セキュリティ > OpenInterface に移動します。
2. OpenInterface を有効にすると、イーサネット 接続経由の着信 TCP/IP (JSON-RPC) 制御コマンドを許可します。

ドキュメンテーション:

同じセキュリティ > OpenInterface メニュー内で、「ドキュメンテーションへ移動」を選択して次の情報にアクセスします。

- 完全なコマンド リスト
- 構文の詳細
- VZX-8 を外部コントロール システムと統合するためのサンプル コード

8 障害

まれに動作中に障害が発生する場合があります。ほとんどの障害は自動的に解決されます。たとえば、装置の温度が高い場合、**FAULT LED** が点灯し、問題が記録されます。温度が正常に戻ると、LED は消灯します。

一時的な障害

CPU 温度が高いなどの状態は、通常、時間の経過とともに解消されます。必要に応じて、次の方法でこれらの障害をクリアできます。

- **電源の入れ直し**を実行する、または
- **INIT ボタン**を 3 秒間押し続けてソフトリセットを実行する、または
- **VZX/障害ログの設定メニュー**でクリアする。

永続的な(「固着」)障害

外部バス上のヒューズのトリガー(自己リセット)などの障害が発生すると、ソフトリセットまたは電源の入れ直しを行った後でも、フロントパネルの **FAULT LED** が点灯し続けます。これらは次の方法で手動でクリアする必要があります。

1. 根本的な問題を解決します(ケーブルの修正、ショートの除去など)。
2. 赤色 LED が消えるまで、フロントパネルの多機能ボタンを 3 秒間押し続けます。

障害ログ記録

すべての障害イベントは、**オン/オフステータス情報**とともに記録されます。VZX Web アプリの**設定メニュー**から障害ログにアクセスします。

リモート モニタリング

TCP/IP OpenInterface は、サードパーティのモニタリングシステムとの統合のために、各障害のオン/オフ状態を照会できます。

9 トラブルシューティング

このセクションでは、VZX-8 システムとそのアクセサリの設置と動作中に発生する一般的な問題を解決するためのガイダンスを提供します。

症状	考えられる原因	解決方法
VZX-8 プロセッサがオンにならず、電源 LED が点灯しない。	電源プラグが外れているか、電源からの電力が不十分です。	電源コードが装置にしっかりと接続されていることを確認し、主電源からの電流を確認します。
音声信号が検出されない。	1) 音声入力ケーブルが緩んでいるか、正しく接続されていません。 2) 入力ソースが信号を送信していない。 3) 入力レベルを下げます。	1) ケーブルに損傷がないか確認し、確実に接続してください。 2) VZX Web アプリで入力が無効になっていることを確認します。
音に歪みがある。	1) 入力レベルが高すぎるか低すぎます。 2) 入力段のクリッピングが発生しています。 3) 音楽ソースの品質が不十分です。 4) 出力構成が一致していないか、信号レベルが高すぎる可能性があります。	1) ソースとアンプのレベルを調整します。 2) ソースの品質を確認します。 3) VZX Web アプリで出力レベルを下げるか、アンプの入力感度とゾーンルーティング設定を確認します。
音がこもっている、または低周波数が欠落している。	スピーカー設定が正しくありません (フルレンジスピーカーの LP フィルタなど)。	スピーカーの種類に合わせて、VZX Web アプリでスピーカー設定を調整します。
音声出力が弱い、インジケータに障害は示されていない。	入力コネクタが正しく配線されていません。	入力ケーブルの極性と配線を確認します。
ハムノイズやヒスノイズが発生している。	アンバランスケーブルまたは誤った接続により、入力への干渉が発生しています。	アンバランス入力ケーブル配線を使用します。
フロントパネルの障害 LED が赤色に点灯している。	1) 構成の問題。 2) ケーブルがショートまたは損傷しています。 3) アクセサリが切断されています。	1) Web アプリで VZX-8 とアクセサリの構成を確認します。 2) ケーブルにショートや損傷がないか検査します。 3) アクセサリを再接続します。
VWP または VCS-8 コールステーションがフリーズしている。	原因はさまざまです。	まず、フリーズしたアクセサリを接続解除して再接続してみてください。問題が解決しない場合は、INIT を 3 秒間押し続けて、ソフトリセットを実行します。この場合、ユーザー名、パスワード、構成が保存されます。

症状	考えられる原因	解決方法
VWP が初めて使用したときに読み込み画面で停止する。	VZX-8 からのファームウェア更新が進行中です。	ファームウェアの更新が完了するまでお待ちください。
VZX-8 にログインまたは接続できない。	原因はさまざまです。	<ol style="list-style-type: none"> 1) VZX URL、ユーザー名、パスワードを確認します。 2) DHCP 設定を確認します。 3) 正しい接続方法を使用します (Rescue URL: http://169.254.1.0 など)。 4) ユニットの電源を入れ直します。 5) 解決しない場合は、システムリセットを実行します。
ファームウェア更新の発行後に再接続できない。	ファームウェアの更新中に装置の電源がオフになったか、失われたため、更新プロセスが失敗し、装置が応答しなくなりました。	<ol style="list-style-type: none"> 1) この問題を回避するには、ファームウェアの更新中に電源を切断しないでください。 2) 装置が応答しない場合は、dynacord.com から OMNEO ファームウェアアップロードツールをダウンロードし、このツールを使用してリカバリを実行します。 3) 「user」という名前のユーザーを登録し、構成した管理者パスワードを使用して、安全なファームウェア更新を確実に実行します。
VZX-8 のユーザー名/パスワードを忘れた。	認証情報は利用できません。	ハードリセットを行うには、INIT を 15 秒以上押し続けます。これにより構成が消去され、新しいセットアップが必要になります。構成は MicroSD から回復できる場合があります。

10 メンテナンス

本製品は、最小限のメンテナンスで長期間問題なく動作するよう設計されています。

トラブルのない動作を保証するために、定期的に以下を行ってください。

- すべてのユニットを、よく絞ったリントフリーの布で清掃します。水や化学薬品は絶対に使用しないでください。
- 掃除機で換気口を清掃し、通気を確保します。
- すべてのケーブル接続が腐食していないこと、またねじ止め端子が緩んでいないことを確認します。
- システムコンポーネントのアース (PE) 接続を確認します。

11

テクニカル データ

詳細な仕様と技術文書については、www.dynacord.com に移動し、**ダウンロードセクション**を開き、**技術データ シート**を選択します。

12

VZX-8 ブロック図

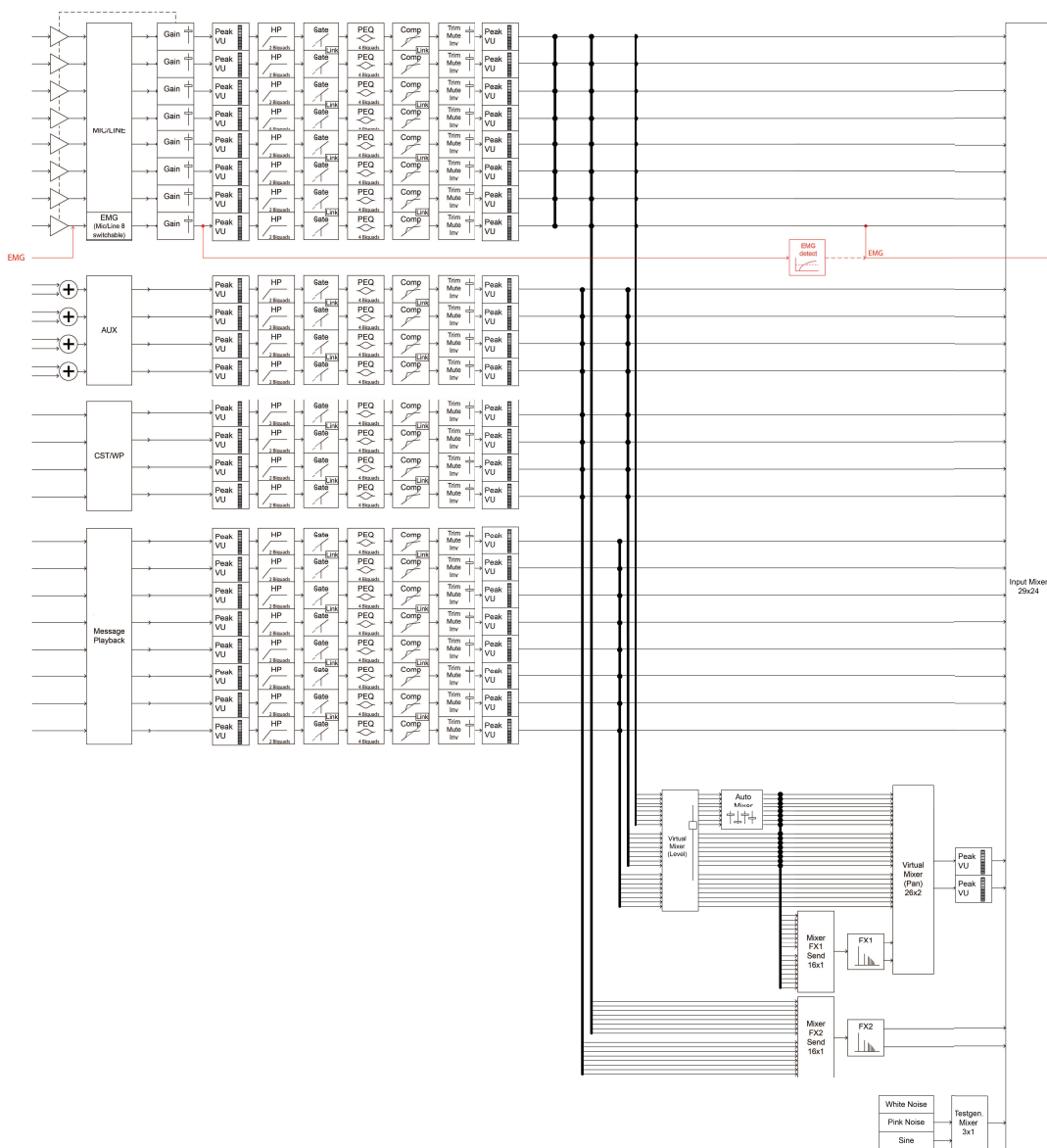


図 12.1: DSP 入力

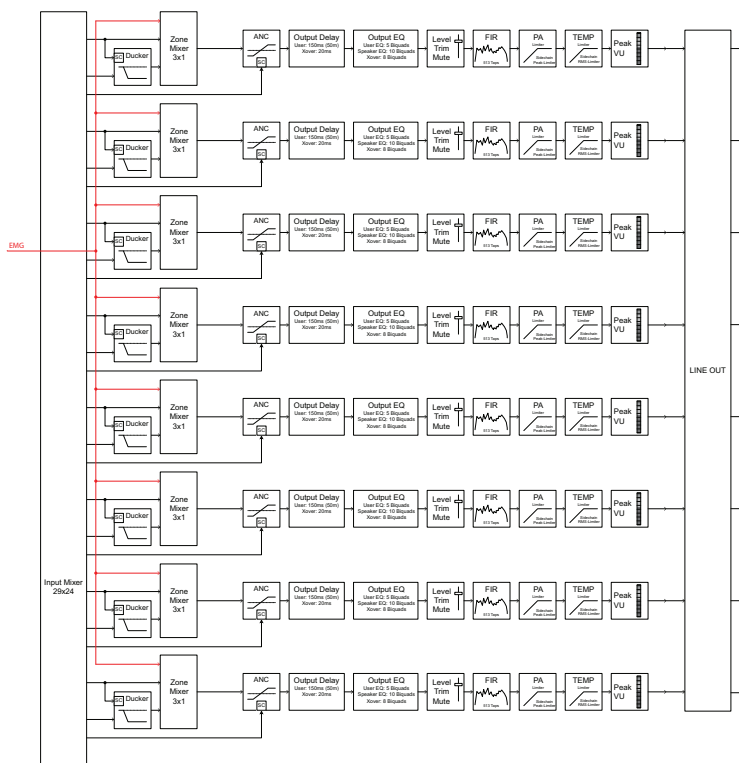
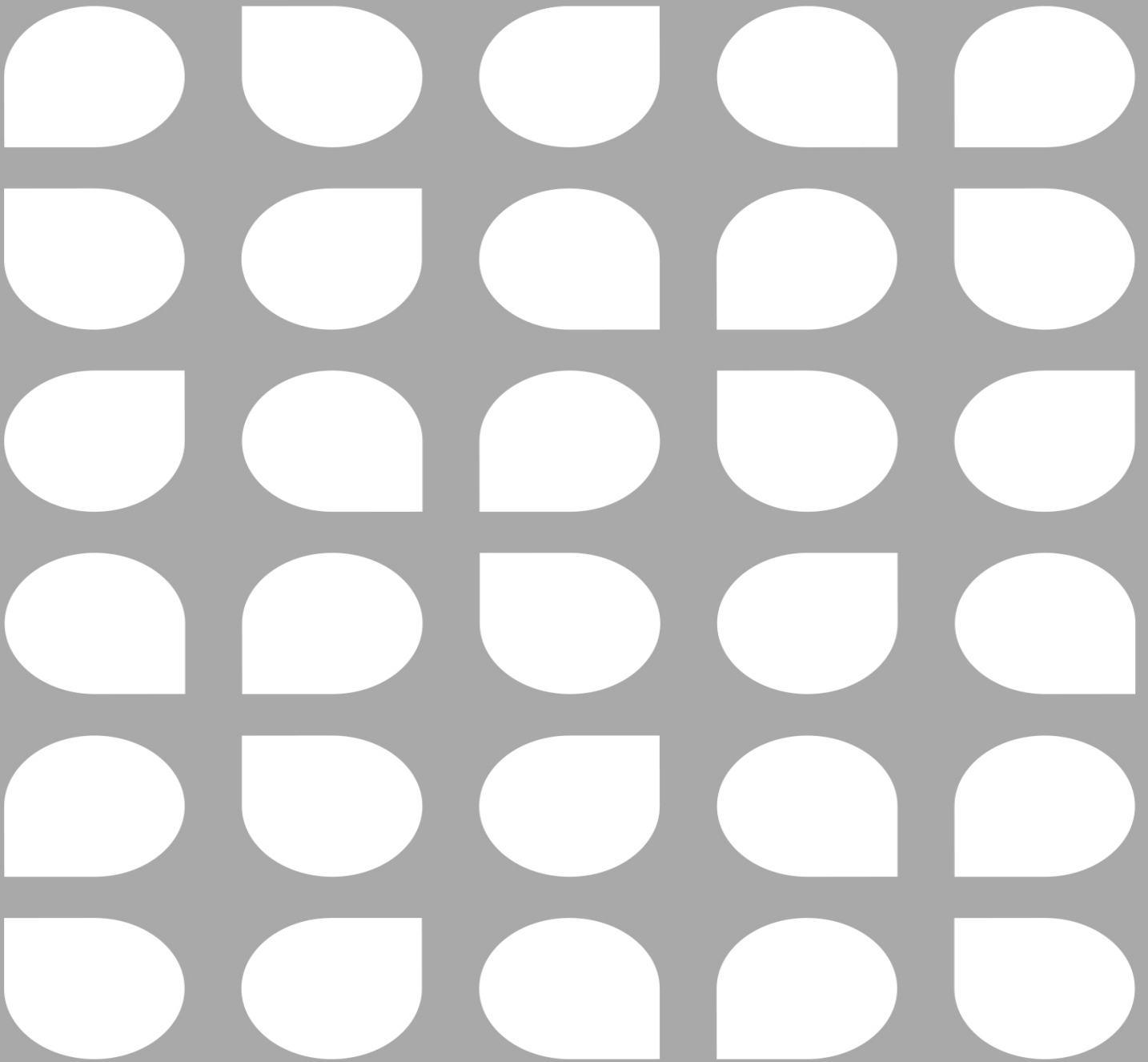


図 12.2: DSP 出力



Electro-Voice Dynacord LLC

130 Perinton Parkway

Fairport, NY 14450

USA

www.dynacord.com

© Electro Voice Dynacord 2026

EU importer:

EVI Audio GmbH

Sachsenring 60

94315 Straubing

Germany

© EVI Audio GmbH, 2026